

基礎配筋検査

実施日	2020-09-10	
登録物件名	〇〇様邸	002
事業者名	会社〇〇	
事業者立合者	近藤 卓也	
報告者	近藤 卓也	
総合判定	適合	

【凡例】「方法」欄 A:目視確認 B:計測確認 C:書類確認（設計図書含む）

「判定」欄 ○:適 ×:不適 ー:該当なし（登録設計図書に記載がない場合を含む） 保留:判定保留

※目視・計測可能な部位で抽出確認し、保険の適否を判定します。

1.書類

No.	項目	基準値	実測値	方法	判断
1-1	基礎配筋検査用の必要書類			C	○

【備考】 1-1.基礎伏図・基礎断面図

2.基礎 配筋

No.	項目	基準値	実測値	方法	判断
2-1	床下防湿措置 防湿フィルムに破れはないか			A	○
2-2	ベタ基礎、鉄筋経、配筋間隔の確認（基礎伏図）			A	○
2-3	出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か	40d	40d	B	○
2-4	底盤鉄筋サイコロ（スペンサーブロック）をいかり厚さ60mm以上か	60mm	60mm	B	○
2-5	サイコロ（スペンサーブロック）間隔が縦横1m以内か	100cm	100cm	B	○
2-6	基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か			B	○
2-7	ベース筋の継手は同列に並ばないようにする。隣り合う継手位置に注意する			B	○
2-8	鉄筋の継手の定着は40d以上か（520mmか）			B	○

2-9	捨てコンとの間だけでなく、斜め筋とシートまでのかぶり厚がとれているか注意する			A	○
2-10	対角寸法は図面の±10mm誤差以内か			B	○

【備考】

3.配管スリーブ


No.	項目	基準値	実測値	方法	判断
3-1	スリーブ配管周辺の補強筋の定着長さが40 d 以上あるか	40d	40d	B	○
3-2	配管周囲の鉄筋との間隔30mm以上確保しているか	30mm	30mm	B	○

【備考】

特記事項

--

<p>2-1 床下防湿措置 防湿フィルムに破れはないか</p> 	<p>備考</p> <p>チェックポイント □□・床下防湿措置 防湿フィルムに破れはないか、床下全体を必ず確認を行う□□</p>
--	---

<p>2-2 ベタ基礎、鉄筋経、配筋間隔の確認 (基礎伏図)</p> 	<p>備考</p> <p>チェックポイント □□・基礎伏図を確認して、鉄筋経、配筋間隔を計測して確認を行う</p>
--	--

2-3 出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か(1/2)

備考



チェックポイント
□□・ 出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か、確実に確認する

基準値
40 d 以上
実測値
40 d

2-3 出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か(2/2)

備考



チェックポイント
□□・ 出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か、確実に確認する

基準値
40 d 以上
実測値
40 d

2-4 底盤鉄筋サイコロ（スペンサーブロック）をいかり厚さ60mm以上か

備考



チェックポイント
□□・スペンサー
ブロックが適切に
配置され、かぶり
厚60mm以上確
保されているか、
全箇所を確認する

基準値
60mm以上
実測値
60mm

2-5 サイコロ（スペンサーブロック）間隔が縦横1m以内か

備考



チェックポイント
□□・スペンサー
ブロックの配置が
正確か確認して、
間隔が縦横1m以
内か計測して確認
を行う

基準値
縦横1m以内
実測値
1m

2-6 基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か(1/2)

備考





チェックポイント
□□・基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か、スケールを用いて確認を行う

2-6 基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か(2/2)

備考



チェックポイント
□□・基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か、スケールを用いて確認を行う

<p>2-7 ベース筋の継手は同列に並ばないようにする。隣り合う継手位置に注意する</p>	<p>備考</p>
	<p>チェックポイント □□・ベース筋の継手は同列に並ばないようにする。 隣り合う継手位置に注意する</p>
<p>2-8 鉄筋の継手の定着は40d以上か（520mmか）</p>	<p>備考</p>
	<p>チェックポイント □□・鉄筋の継手の定着は40d以上か（520mmか）確実に確認を行う</p> <p>基準値 40d以上 実測値 40 d</p>

2-9 捨てコンとの間だけでなく、斜め筋とシートまでのかぶり厚がとれているか
注意する

備考



チェックポイント
□□・捨てコンとの間だけでなく、斜め筋とシートまでのかぶり厚がとれているか注意する

2-10 対角寸法は図面の±10mm誤差以内か(1/2)

備考



チェックポイント
□□・対角寸法は図面の±10mm誤差以内か、図面を確認して計測を行う

基準値
±10mm
実測値
+5mm

2-10 対角寸法は図面の±10mm誤差以内か(2/2)

備考



チェックポイント
□□・対角寸法は
図面の±10mm誤
差以内か、図面を
確認して計測を行
う

基準値
±10mm
実測値
+5mm

3-1 スリーブ配管周辺の補強筋の定着長さが40 d 以上あるか

備考

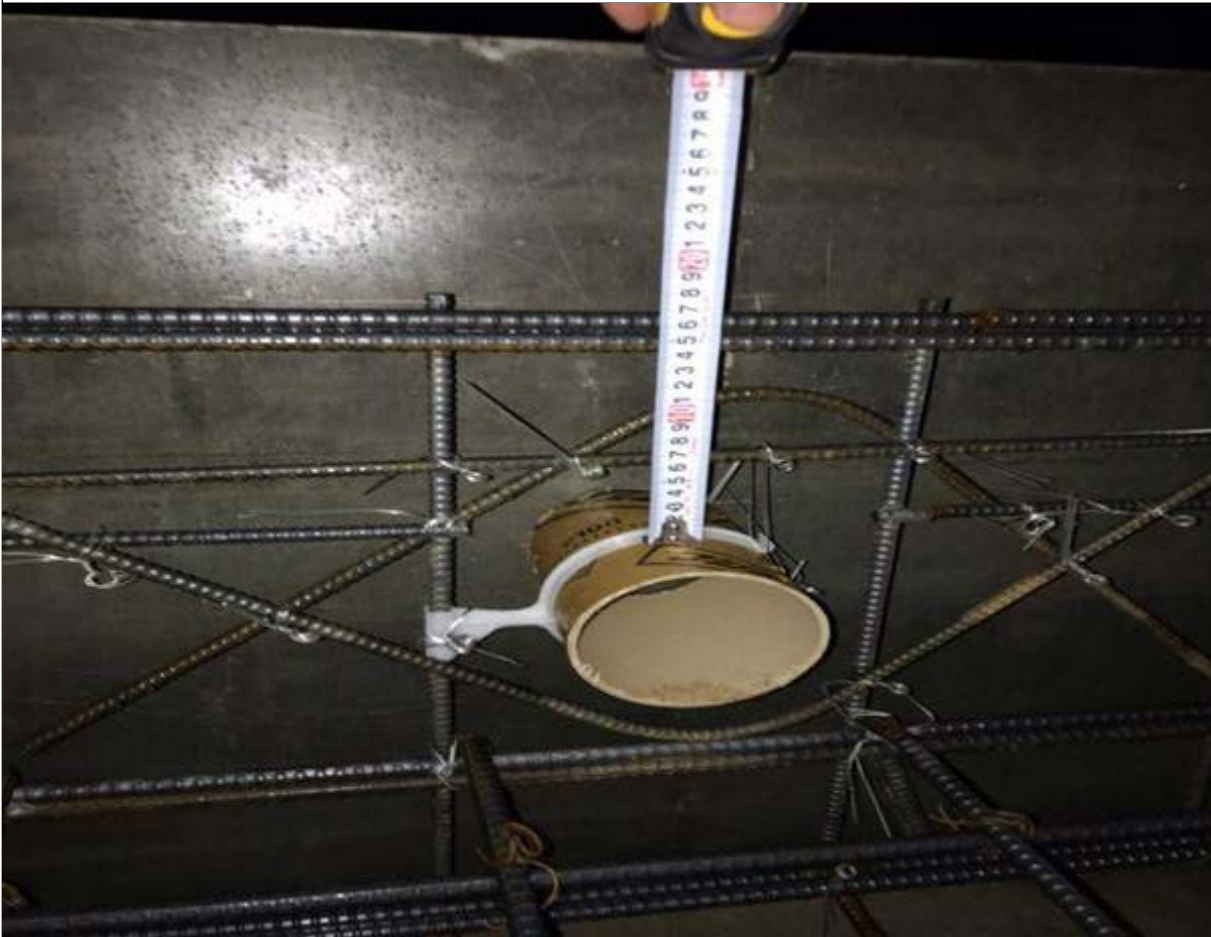


チェックポイント
□□・スリーブ配
管周辺の補強筋の
定着長さが40 d
以上あるか、スケ
ールを用いて計測
する

基準値
40 d 以上
実測値
40 d

3-2 配管周囲の鉄筋との間隔30mm以上確保しているか

備考



チェックポイント
□□・配管周囲
の鉄筋との間隔3
0mm以上確保して
いるか、確実に4
方向を確認する

基準値
30mm以上
実測値
30mm